

先駆けを!

学校報

望洋

夢の実現におけて!

東海大学付属望洋高等学校
編集:メディアセンター
2016年3月18日 第121号

卒業おめでとう 第30回 卒業証書授与式を挙



3月5日(土)、2015年度 第30回 卒業証書授与式が
挙行されました。当日は、男子225名・女子102名、合
わせて327名の卒業生が本校から旅立っていきました。
今号は、式当日に読み上げられた答辞を中心に、各賞の
受賞者を紹介して卒業生たちの栄光を讃えます。



2015年度 第30回 卒業証書授与式 答辞

卒業生代表 3年1組 川奈部 真由

答 辞

厳しい寒さもやわらぎ、春の暖かな陽射しを感じる季節となりました。膨らみ始めた校庭の木々の芽が、希望に満ちた新しい始まりを予感させます。

本日は私たち卒業生のためにこのように盛大な卒業証書授与式を挙行していただき、誠にありがとうございます。ご臨席を賜りました東海大学学長の山田清志先生をはじめ、校長先生、ご来賓の皆様方からのご祝辞、在校生からの温かい言葉をいただき、胸が熱くなる思いがしております。卒業生一同、心より御礼申し上げます。

三年前の入学式。新しい仲間と学校生活をスタートするにあたり、私はこの場所で、仲間を大切にすること、仲間から大切にされる人間になることを目標とする誓いの言葉を、新入生代表として述べました。私ごとですが、私の高校生活は、この場所から歩み始めたと感じています。

そうして迎えた望洋研修。長縄跳びや合唱を通してクラスの団結力を深め、先生方からの講話を通じて望洋生としての在り方を学びました。そして何より、三日間仲間と寝食を共にすることで、集団生活の大切さを実感しました。日々の中で、友人たちとの心のふれあいを感じた一年となりました。

部活動や学習にと学校生活に慣れ始めた二年生では、私たちにとって大きな出来事が二つありました。

その一つが、野球部の夏の甲子園出場です。私たちの仲間が、あの甲子園の地でプレーしている姿を見て、感動を覚えるとともに、自分自身も頑張らなければと勇気づけられました。

二つ目は、沖縄の研修旅行です。体験学習や、美ら海水族館での散策を通して、沖縄の自然や文化を体で感じました。また、平和学習では、沖縄戦の凄惨な過去について学びました。講話をしてくださった方からの、「戦争の苦しみ、そこから解放されるのは、死を迎えた時だけ」という言葉が痛烈に心に残っています。今でも苦しんでいる人がいるという事実と、戦争を知らない私たちが、世界の紛争や平和について、どう向き合っていくべきなのか。それを考えるきっかけとなりました。さらに、今、隣にいる仲間をもっと大切にしなければ、と強く思うようになりました。様々な行事を通じて、心の成長を感じる一年となりました。

そして、三年生。

最上学年として、部活動や委員会の中核となり、三年生がリーダーシップを取りながら、全員が協力し合い、様々な活動に取り組んできました。また、それらの活動すべてが「高校生活最後の」と付くようになりました。特に、今年の建学祭は、「Reborn～新たな始まり～」をテーマに、望洋高校で初めて、二日間の一般公開を実施し、学校全体で建学祭を成功へと導いていきました。今まで感じたことのない達成感や充実感を覚え、仲間との絆がさらに深めら



れていくのを感じました。しかし、その一方で、一つ、また一つと行事を終えるたびに、「卒業」という二文字に近づいていくのを感じるようになり、それは通い慣れた校舎と、この望洋高校の仲間との別れの時が近づいていることを意味していました。

この三年間は、決して楽しいことや嬉しいことばかりではありませんでした。時には悲しいことがあり、学校生活がつらいと感じることもありました。そんな時、支えてくれたのは、友人の存在です。落ち込んだ時、話を聞いて、励ましてくれた友達。間違った方向に進みそうになった時、そっと間違いに気づかせてくれた友達。思い悩み、涙を流した時、一緒になって涙を流してくれた友達。互いに支え合い、高め合うことのできる仲間に出会えたこの望洋高校で、三年間を過ごすことができ本当によかったと、心から思っています。

先生方は、時に厳しく、時に優しく、私たちを指導してくださいました。学習だけでなく、これから社会で生きていくために必要なことを、たくさん教えてくださいました。どんな時にも私たちを信じ、決して見放さずに導いてくださった先生方。先生方からの言葉一つ一つが、私たちの財産です。本当にありがとうございました。

また、毎日の登下校や部活動の遠征の際には、バスの運転手の方々に大変お世話になりました。私たちが、勉強や部活動に専念できたのも、日々を支えてくださった周囲の方々のお陰です。本当にありがとうございました。そして何より、十八年間私たちを一番近くで見守ってくれた家族に、心から感謝しています。たくさん心配をかけてきたけれど、私たちを理解してくれる家族の愛情に包まれ、支えられて、今日という日を迎えられるのだと思います。卒業の日、こうして振り返ってみると、家族のおかげで今の自分があるということに気づきました。本当に心から感謝しています。ありがとうございました。

私たちは、これから新たな目標を胸に、別々の道を歩んでいきます。その道の途中で、苦しんだり、悩んだり、大きな困難にぶつかったりすることもあるでしょう。そんな時には、この望洋高校で授けていただいた精神と、これからも変わることのない友情を糧にして、乗り越えていきたいと思えます。

そして、これからの望洋高校を担う、在校生の皆さんに、私が三年前の入学式にこの壇上で宣誓した言葉を贈ります。

「一人はみんなのために、
みんなはひとりのために」

皆さん一人一人が仲間を大切に思い、仲間から大切に思われる人となって、来年度から新たに生まれ変わるこの望洋高校を、より良い学校にしていってください。木々の蕾が、春の光で花を開いていくように。

最後になりましたが、今までお世話になりました、校長先生をはじめとする、諸先生方、友人、家族、在校生の皆さんに改めて感謝申し上げますとともに、望洋高校の更なる発展を卒業生一同、心よりお祈り申し上げ、答辞とさせていただきます。

長い間、本当にありがとうございました。

二〇一六年三月五日

第三〇回 卒業生代表 川奈部真由

受賞おめでとう！ 各賞 受賞者

総長賞	伊藤	くるみ	(生物部)
生徒会功労賞	長谷川	丈	(前生徒会会長)
千葉県知事賞	深山	映志朗	(射撃部)
千葉県私立中学高等学校協会賞	伯ヶ部	晃輔	(陸上競技部)
卒業記念品贈呈者	平子	一輝	(サッカー部)
生徒会記念品 受領者	中村	浩之	(陸上競技部)
生徒会記念品 贈呈者	中村	泰成	(生徒会会長)
同窓会資料受領者	石井	亜季	(バレーボール部マネージャー)

学校長賞

優等賞

総合進学コース (22名)

伊藤	くるみ	川奈部	真由	志賀	麻希	三幣	海人	深山	映志朗
石井	亜季	井奥	朋香	大塚	百華	小澤	愛	伊藤	大地
大滝	宗一朗	千頭	知浩	久我	真凜	首藤	朱音	伊藤	友哉



櫻村 稔 外川 拓哉 中村 浩之 桐谷 友子 齊藤 彩世
 富裕 美紀 葛 紘一郎 代表 大塚 百華 (バドミントン部部长)

三ヵ年皆勤賞

総合進学コース (50名)

伊藤 くるみ	大野 匠	坂巻 勇斗	早川 貴博	村越 佑伍
鈴木 杏奈	朝生 凌也	石渡 智央	金木 希紘	栗原 健人
高嶋 航平	平子 一輝	深山 映志朗	内海 沙優	小池 ほの香
神谷 剛志	寺岡 宏太朗	古川 大棋	青山 千亜希	井奥 朋香
大滝 宗一郎	飛留間 智貴	森田 侑紀仁	山口 良	吉田 廉
内山 由梨佳	高仲 純佳	中山 聖也	西宮 莉来	前田 光輝
三枝 真子	鳥海 里菜	前田 愛	横山 祐華	遠藤 貴幸
加藤 謙太郎	倉持 有希	佐藤 宏樹	富田 築	内藤 秀峰
永田 拓也	長谷川 丈	花沢 到	増戸 宥介	齊藤 彩世
高橋 奏乃	菊池 勝斗	佐野 光平	杉谷 広樹	原田 泰成

スーパー特進コース (5名)

米倉 七瀬 稲毛田 大輝 桐田 恭輔 島田 孝一 中山 将
 代表 総合進学コース 齊藤 彩世 (放送部部长)
 スーパー特進コース 米倉 七瀬 (バスケットボール部)

三ヵ年精勤賞

総合進学コース 松本 奈津 スーパー特進コース 伯ヶ部 晃輔
 他 55名 代表 総合進学コース 伊藤 友哉
 スーパー特進コース 伯ヶ部 晃輔 (陸上競技部)

一ヵ年皆勤賞

総合進学コース 伊藤 くるみ スーパー特進コース 米倉 七瀬
 他 112名 代表 総合進学コース 久我 真凜 (クッキング部)
 スーパー特進コース 大岩 蓮 (バレーボール部)

<松前重義賞 [スポーツ部門] >

奨励団体賞

ソフトボール部

奨励選手賞

塩見 宏人 (陸上競技部)
 平島 春信 (陸上競技部)



<東海大学付属推薦に関する表彰>

特別奨励入学による採用者

佐々木 裕太 (射撃部部长)

付属推薦入学成績優秀者に対する奨学金

外川 拓哉 (バレーボール部部长)



<その他の公的団体等からの表彰>

千葉県高等学校野球連盟優秀選手賞

潤米 浩介 (野球部主将)

千葉県高等学校体育連盟柔道専門部優秀選手賞

木崎 浩介 (柔道部部长)

千葉県私立高等学校柔道部会優秀選手賞

坂巻 勇斗 (柔道部副部长)

千葉県高等学校教育研究会優良図書委員

舘 敦 (図書委員会委員長)

高校生新聞社賞

桑原 和奏 (吹奏楽部部长)



マラソン大会を開催

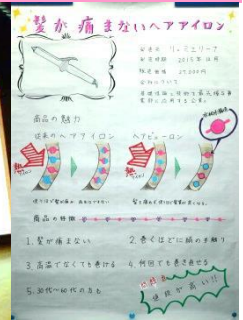


2月12日(金)、千葉県総合スポーツセンターを会場に、第30回 マラソン大会を開催しました。当日は、陸上競技場からスタートし、男子は7km、女子は5.5kmを走り、再び陸上競技場に戻るというコースで健脚を競いました。天候にも恵まれた大会は、1年生の頑張りを印象付けて終了。沿道には、子どもの走る様子を見ようと駆けつけた、保護者の姿も見受けられました。

知的財産教育授業発表会を開催

1 年生

2月17日(水)、高校現代文明論の一環として記的財産教育授業発表会を開催しました。本校の知的財産教育は、知的財産を尊重する心を養い、かつ自ら知的財産を創出して起業する精神を育てるために行う教育活動です。今回の取り組みは、「身近なアイデア商品・便利な商品」と題し、身近にあるヒット商品に盛り込まれた“工夫”を見つけ、グループ発表を行うというものです。どのクラスも準備段階から熱心に取り組み、チームワークを発揮しながらプレゼンテーションを展開しました。



研修旅行結団式を実施

2 年生



3月7日(月)、翌8日から始まる研修旅行に向けての結団式を行いました。当日は、先発団・後発団それぞれの研修旅行を引率する教員が紹介され、生徒たちが編集した「しおり」に従って旅行中の心構え等について確認をしました。また、添乗員として同行する JTB 首都圏の方々からの細やかな説明を聞き、3名の教員による沖縄の地理・歴史・文化等についての講義を受けました。なお、研修旅行については、4月に発行する次号で特集を組む予定です。

研修旅行 行程 (先発団：3月8日～11日・後発団：3月9日～12日)

- 1日目：羽田空港 → 那覇空港 → 道の駅「かでな」 → むら咲むら (体験学習) → ホテル
- 2日目：ホテル → ニライカナイ体験 (体験学習) → 海洋博公園 (班別行動=美ら海水族館・エメラルドビーチ) → ホテル
- 3日目：ホテル → 平和祈念堂 (講話・献納) → 糸数壕 → ひめゆり資料館 → おきなわワールド → ホテル
- 4日目：ホテル → 守礼の門・首里城公園 (班別行動) → 国際通り (班別行動) → 那覇空港 → 羽田空港

望洋リレーエッセイ(71) 加藤安則 さん

このコーナーでは、本校教職員によるエッセイを掲載します。今回は、スクールバス運行管理責任者の加藤安則さんです。



皆さんこんにちは。運行管理責任者の加藤です。運行管理責任者の仕事とは、皆さんが登下校や部活動などで利用しているスクールバスを、より安全かつ快適に運行させる仕事です。現在、この学校には「加藤」という名前の教員が私以外に3人居ますが、私は教員ではありませんので「先生」ではなく「加藤さん」と呼んで下さい。バスのボスだからという意味で「バスボス」とか「ボス」とか呼ぶ人も居ますが、どちらでも大丈夫です。さて、この学校の生徒さんは挨拶がきちんとできるし、バスの乗車マナーも非常に良いといつも思っています。これからも皆さんに、より安全かつ快適に利用していただけるように努力していきますので、よろしくお願ひします。

連絡板

緊急連絡は望洋通信システムをご利用ください

<今後の行事>

4月	
4月4日(月)	新入生オリエンテーション
4月5日(火)	第31回 入学式
4月6日(水)	着任式・始業式・対面式
4月7日(木)	授業開始
4月12日(火)	学園基礎学力定着度試験



編集後記 学校報「望洋」121号をお届けします。今号は第30回卒業証書授与式を中心に編みました。4月はもう目の前です。今年度1年間ありがとうございました。気持ちを新たに新年度に臨みたいと思います。(寿)